



2026年12月期第1四半期 決算説明資料

東証グロース4375 セーフィー株式会社

[通常版はこちら](#)

2026年12月期第1四半期 業績ハイライト

調整後営業利益は前四半期比で増益

売上高

5,107
百万円
(YoY+20.9%)

エンタープライズ向けの
大型案件が寄与

売上総利益

2,669
百万円
(YoY+28.4%)

売上総利益率は
前期比+3.1pt改善し
52.3%に到達

調整後営業利益

203
百万円
(YoY 144百万円の増益)

通期業績目標の
達成に向けて
好調な発進

決算サマリー

第1四半期の増収増益と利益成長の実現

- 売上高は前年同期比20.9%増、売上総利益は前年同期比28.4%増、
2026年12月期第1四半期は、調整後営業利益において前四半期比で増益

リカーリング・スポット両収益の着実な積み上げ

- スポット収益は14.0億円（前年同期比+19.3%）、
リカーリング収益は36.9億円（前年同期比+21.5%）へ

今後の事業成長に向けたビジネスアップデート

多様なIoTデバイスとAIソリューションの活用を進め、現場AXを着実に推進
初のM&Aを実行、今後も事業成長を見据え戦略的に継続

現場AX事例の展開

- 多様なIoTデバイスとAIソリューションを活用した現場AX事例が増加中
- 課金カメラ台数とソリューション売上高を拡大し顧客あたりの単価上昇に貢献

施工・保守体制の強化と現場AXの実装加速

- 株式会社Laska（工事会社）がグループジョイン予定
- 施工・保守工事を上げ、現場AXの推進スピードを加速

2026年第2四半期・通期業績見込

業績達成に向けた投資の拡大

- 第2四半期の販管費は通期業績達成のため、エンタープライズ顧客獲得を
目的とした広告宣伝費、人員増に伴う人件費、オフィス関連費用が増額予定
通期業績予想に変更なし



現場DX × AI = 現場AX

セーフイーはあらゆる現場でAIを量産し、現場のデバイスと連携して現場のAI Transformation (現場AX) を推進していく

あらゆる業界にて映像×AIを活用した現場AXが浸透

小売・建設・介護などの現場ニーズを解決するため、デバイスとソリューションの導入が進み、現場AXが加速

業界	デバイス例	AIソリューション例	現場AXが提供している価値
 小売	safie Trail Station AI	@i-app 来店率の可視化 ロス対策	店舗マネジメントを効率化 人流や滞在状況を可視化し マーケティングや業務改善に活用
 建設	safie GO PTZ AI	Ailytics 不安全行動検知AI 生成AI	現場の安全管理と 業務の自動化を推進 不安全行動検知や 巡回や状況確認、報告書作成まで効率化
 介護	safie One	AI警備 転倒・不審 行動検知AI	施設のセキュリティ強化と 警備の自動化 侵入検知や追尾、音声威嚇、 常時監視を自動化し、警備を効率化

各業界の現場AX

課金カメラ台数

ソリューション売上高

顧客あたりの単価

施工・保守専門子会社「セーフイーフィールドワークス」に
工事会社「株式会社Laska」がグループジョイン

- 職人不足による導入ハードルを解消するためカメラの販売から施工・保守までを一気通貫で提供
- セーフイーフィールドワークスの建設業許可取得に基づき大規模案件を含むあらゆる工事を迅速に完結できる体制を構築
- Laskaの全国主要都市に展開する工事ネットワークを基盤に施工の内製化による高品質な提供体制を確立
- セーフイーグループはM&A戦略を通じて施工・保守体制を強化し日本全国へ現場AXをデリバリー

